



## 2024年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月15日

東

上場会社名 ペイクラウドホールディングス株式会社 上場取引所  
 コード番号 4015 URL <https://www.paycloud.inc/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾上 徹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 井上 浩毅 (TEL) 03-5414-3666  
 定時株主総会開催予定日 2024年11月26日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2024年11月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年8月期の連結業績 (2023年9月1日~2024年8月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	6,853	53.1	721	43.8	337	106.6	320	140.0	74	△35.0
2023年8月期	4,476	284.1	501	—	163	—	133	—	114	—

(注) 包括利益 2024年8月期 68百万円(△40.0%) 2023年8月期 113百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年8月期	5.37	5.27	2.4	5.1	4.9
2023年8月期	10.65	10.48	6.4	3.2	3.7

(参考) 持分法投資損益 2024年8月期 一百万円 2023年8月期 5百万円

(注) 2024年8月期より調整後EBITDAの算定において、株式報酬費用を含めております。そのため、調整後EBITDAは、営業利益と減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)、株式報酬費用の合計額となっております。それに伴い、2023年8月期の調整後EBITDAについても同様の算定方法で算出した数値を記載しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	8,262	4,215	50.2	264.33
2023年8月期	4,401	2,163	48.5	180.07

(参考) 自己資本 2024年8月期 4,147百万円 2023年8月期 2,133百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	1,164	△19	121	3,228
2023年8月期	561	△87	△80	1,490

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	9,000	31.3	1,000	38.6	500	48.0	—	—	—	—	—

（注）当社グループは、「売上高」、「調整後EBITDA」及び「営業利益」を経営戦略上の重要な指標であると捉えていることから、「経常利益」及び「親会社株主に帰属する当期純利益」については、2025年8月期の連結業績予想は非開示としております。そのため、「1株当たり当期純利益」についても非開示としております。

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 3社（社名） アアラ株式会社、  
株式会社クラウドポイント、 除外 1社（社名）  
株式会社シーピープラス

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年8月期	15,717,908株	2023年8月期	11,848,563株
2024年8月期	25,731株	2023年8月期	370株
2024年8月期	13,807,054株	2023年8月期	10,710,640株

（参考）個別業績の概要

1. 2024年8月期の個別業績（2023年9月1日～2024年8月31日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	951	△5.2	32	—	187	—	188	—
2023年8月期	1,004	△13.9	△163	—	△202	—	△204	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期	13.62	13.39
2023年8月期	△19.11	—

（注）2023年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失のため記載していません。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	5,362	4,075	74.7	254.99
2023年8月期	3,142	1,876	58.8	155.86

（参考）自己資本 2024年8月期 4,007百万円 2023年8月期 1,846百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	14
(収益認識関係) .....	18
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	19

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、個人消費の持ち直しやインバウンド需要の回復に伴い、緩やかな景気回復の動きが見られる一方、原材料やエネルギー価格をはじめとした諸物価の上昇及び日本銀行の金融緩和政策の見直しに対する警戒感、中国経済の先行き懸念や長期化するウクライナ情勢と中東情勢の不安定化に伴い、依然として先行きは不透明な状態にあります。

このような環境下において、当社グループでは、2024年3月1日に純粋持株会社体制へ移行し、各事業会社が共通顧客基盤に対するアプローチを積極的に行うことで、顧客獲得を進めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高6,853,412千円（前年同期比53.1%増）、営業利益337,945千円（前年同期比106.6%増）、経常利益320,086千円（前年同期比140.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益74,149千円（前年同期比35.0%減）となりました。また、当社グループが経営戦略上の重要指標であると捉えている調整後EBITDA(\*)は721,393千円となりました。

(\*) 調整後EBITDAは、営業利益と減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）及び株式報酬費用の合計額となっております。

セグメントの概況は以下のとおりであります。

なお、第3四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。変更の詳細は、「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) セグメント情報 1. 報告セグメントの概要 (3) 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

#### a. キャッシュレスサービス事業

「キャッシュレスサービス事業」については、2023年1月に実施いたしました、連結子会社である株式会社バリューデザインとの事業統合による効果が継続いたしました。新サービスの導入が遅れたものの、決済手数料収入の着実な上積みが進み、利益率が当初の計画を上回り推移しました。キャッシュレスサービス事業の当連結会計年度末における顧客数は1,090社となり、累計エンドユーザー数は207,457千人となりました。また、当連結会計年度における独自Payの決済取扱高は、1.34兆円と堅調に増加したものの、受注済み顧客に起因するサービス展開の期ズレ等の要因により、中期経営計画において計画していた1.5兆円には未達となりました。

その結果、キャッシュレスサービス事業の当連結会計年度における売上高3,376,041千円（前年同期比11.0%減）、セグメント利益616,881千円（前年同期比0.6%減）となりました。

#### b. デジタルサイネージ関連事業

「デジタルサイネージ関連事業」については、2024年3月1日付で株式交換により完全子会社化した株式会社クラウドポイントにおいて、今期予算策定時の想定以上に、多店舗展開する企業へのデジタルサイネージ導入が進んだことや、商業施設や金融機関などへのLEDビジョン導入の大型案件を複数受注したことが寄与し、売上高、利益共に好調に推移いたしました。また、当連結会計年度におけるデジタルサイネージ累計設置面数は57,850面、累計設置箇所は25,200箇所、順調に増加いたしました。

その結果、デジタルサイネージ関連事業の当連結会計年度における売上高2,748,296千円、セグメント利益392,512千円となりました。

#### c. ソリューション事業

「ソリューション事業」については、連結子会社であるアララ株式会社の主要なサービスであるメッセージングサービスにおいて、事業者向けにメッセージ配信を行う法人企業へのアウトバウンド営業活動を引き続き強化してまいりました。また、Webマーケティングの強化にも積極的に取り組み、新規顧客の獲得を推進いたしました。事業は堅調な伸びを続けており、メッセージングサービスの当連結会計年度における取引社数は333社、解約率は0.5%となりました。

その結果、ソリューション事業の当連結会計年度における売上高736,414千円（前年同期比6.8%増、セグメント間の内部売上高8,360千円を含む）、セグメント利益225,423千円（前年同期比0.5%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当連結会計年度末における資産合計は8,262,802千円となり、前連結会計年度末に比べ3,861,144千円増加いたしました。

このうち、流動資産は4,834,062千円(前連結会計年度末から2,484,409千円の増加)となりました。これは主として、現金及び預金が1,737,323千円、受取手形、売掛金及び契約資産が391,761千円、棚卸資産が286,967千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は3,428,739千円(前連結会計年度末から1,376,735千円の増加)となりました。これは主として、のれんが1,214,700千円、ソフトウェアが60,504千円、ソフトウェア仮勘定が46,793千円、敷金及び保証金が69,079千円それぞれ増加した一方、顧客関連資産が60,300千円、工具、器具及び備品が6,163千円それぞれ減少したことによるものであります。

### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は4,047,342千円となり、前連結会計年度末に比べ1,808,849千円増加いたしました。

このうち、流動負債は2,803,426千円(前連結会計年度末から1,668,819千円の増加)となりました。これは主として短期借入金が316,640千円、預り金が636,140千円、未払法人税等が179,504千円、前受金が169,254千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は1,243,915千円(前連結会計年度末から140,030千円の増加)となりました。これは、長期借入金が197,820千円増加した一方、社債が36,000千円、繰延税金負債が18,463千円それぞれ減少したことによるものであります。

### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は4,215,460千円となり、前連結会計年度末から2,052,295千円増加いたしました。これは主として、株式会社クラウドポイントとの株式交換及び新株予約権の行使により資本剰余金が1,939,213千円、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が74,149千円増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,737,323千円増加し、3,228,269千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,164,007千円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益322,315千円、減価償却費169,907千円、のれん償却額188,411千円、売上債権の減少額185,999千円、預り金の増加額628,671千円、仕入債務の減少額384,174千円によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは19,766千円の使用となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出7,836千円及び無形固定資産の取得による支出166,239千円、投資有価証券の売却による収入158,012千円によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは121,069千円の収入となりました。これは主に、短期借入金の増加額316,640千円、長期借入金(一年内返済予定を含む)による収入100,000千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入36,833千円、長期借入金(一年内返済予定を含む)の返済による支出280,004千円によるものであります。

#### (4) 今後の見通し

2025年8月期におきましては、「キャッシュレスサービス事業」及び「デジタルサイネージ関連事業」を成長ドライバーと位置付け、積極的な投資を継続してまいります。

「キャッシュレスサービス事業」におきましては、様々な技術革新やサービス提供が行われており、今後も市場規模は拡大するものと考えております。連結子会社の株式会社バリューデザインにおいては、顧客のキャッシュ・フローの良化とロイヤルカスタマーの構築に寄与する点を強みに、飲食・小売店を主要な顧客としていた独自Payの領域を、地方自治体のキャッシュレス施策支援等に拡大する事や、決済・マーケティングサービスの強化等、事業領域の拡大に向けた投資を継続いたします。

「デジタルサイネージ関連事業」におきましては、動的かつ視覚的にインパクトのある情報をリアルタイムに提供することで急速に変化する市場のニーズに応えることが可能なことに加え、労働力不足を補う自動化ツールとしての役割への期待から、引き続きデジタルサイネージの旺盛な需要が続くものと考えております。連結子会社の株式会社クラウドポイントでは、顧客のデジタルサイネージの導入計画策定から機器選定、システム提案、設置工事、コンテンツ制作・配信、システムの保守・運用まで、ワンストップで行う強みを活かし、引き続き顧客基盤の強化を進めてまいります。

「ソリューション事業」は、連結子会社のアララ株式会社の主要なサービスであるメッセージングサービスにおきまして、サービスメニューの拡充等の施策により既存顧客の単価向上を図ってまいります。このような施策により、今後も本事業の業績は安定的に推移していくものと考えております。

以上のことから、2025年8月期の連結業績見通しにつきましては、売上高は9,000,000千円、調整後EBITDAは1,000,000千円、営業利益は500,000千円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,490,946	3,228,269
受取手形、売掛金及び契約資産	698,683	1,090,445
棚卸資産	88,412	375,379
その他	72,073	140,397
貸倒引当金	△463	△430
流動資産合計	2,349,653	4,834,062
固定資産		
有形固定資産		
建物	53,242	80,593
減価償却累計額	△43,803	△68,934
建物（純額）	9,439	11,659
工具、器具及び備品	272,544	323,105
減価償却累計額	△223,324	△280,049
工具、器具及び備品（純額）	49,219	43,056
リース資産	162,326	214,420
減価償却累計額	△153,705	△209,661
リース資産（純額）	8,621	4,758
建設仮勘定	284	2,736
その他	39,044	38,705
減価償却累計額	△39,044	△38,705
その他（純額）	—	—
有形固定資産合計	67,564	62,210
無形固定資産		
のれん	1,044,594	2,259,295
顧客関連資産	532,650	472,350
ソフトウェア	177,831	238,335
ソフトウェア仮勘定	141,918	188,712
その他	73	726
無形固定資産合計	1,897,067	3,159,419
投資その他の資産		
投資有価証券	325	32,682
敷金及び保証金	44,871	113,951
保険積立金	10,182	11,781
繰延税金資産	29,953	40,309
その他	3,184	9,004
貸倒引当金	△1,145	△620
投資その他の資産合計	87,372	207,109
固定資産合計	2,052,004	3,428,739
資産合計	4,401,658	8,262,802

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	349,136	378,438
短期借入金	—	316,640
1年内償還予定の社債	32,000	36,000
1年内返済予定の長期借入金	280,004	387,731
リース債務	4,672	4,699
未払金	126,941	293,410
未払法人税等	23,501	203,005
前受金	187,870	357,124
賞与引当金	—	35,905
預り金	12,159	648,300
その他	118,320	142,169
流動負債合計	1,134,607	2,803,426
固定負債		
社債	36,000	—
長期借入金	898,315	1,096,135
リース債務	4,810	522
退職給付に係る負債	1,662	2,623
繰延税金負債	163,097	144,633
固定負債合計	1,103,885	1,243,915
負債合計	2,238,492	4,047,342
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,001,772	1,021,779
資本剰余金	2,865,919	4,805,133
利益剰余金	△1,733,452	△1,659,302
自己株式	△189	△13,195
株主資本合計	2,134,050	4,154,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△3,212
為替換算調整勘定	△465	△3,207
その他の包括利益累計額合計	△465	△6,419
新株予約権	29,580	67,464
純資産合計	2,163,165	4,215,460
負債純資産合計	4,401,658	8,262,802



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
売上高	4,476,307	6,853,412
売上原価	2,179,605	3,844,972
売上総利益	2,296,702	3,008,440
販売費及び一般管理費	2,133,098	2,670,495
営業利益	163,604	337,945
営業外収益		
受取利息	965	2,790
為替差益	6,693	1,922
持分法による投資利益	5,328	—
その他	707	1,802
営業外収益合計	13,694	6,515
営業外費用		
支払利息	23,617	22,978
支払手数料	15,677	1,032
株式交付費	3,972	—
その他	645	364
営業外費用合計	43,913	24,374
経常利益	133,385	320,086
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,505
新株予約権戻入益	228	384
短期売買利益受贈益	14,155	—
特別利益合計	14,383	2,889
特別損失		
固定資産除却損	1,111	—
投資有価証券評価損	—	660
関係会社株式売却損	7,674	—
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩損	3,249	—
特別損失合計	12,034	660
税金等調整前当期純利益	135,734	322,315
法人税、住民税及び事業税	73,102	256,728
法人税等調整額	△51,495	△8,562
法人税等合計	21,607	248,165
当期純利益	114,126	74,149
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	114,126	74,149

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
当期純利益	114,126	74,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△3,212
為替換算調整勘定	△465	△2,742
その他の包括利益合計	△465	△5,954
包括利益	113,661	68,195
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	113,661	68,195
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	694,695	2,558,842	△1,847,578	△58	1,405,900
当期変動額					
新株の発行	307,076	307,076	—	—	614,153
株式交換による増加	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	114,126	—	114,126
自己株式の取得	—	—	—	△131	△131
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	△0	—	—	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	307,076	307,076	114,126	△131	728,149
当期末残高	1,001,772	2,865,919	△1,733,452	△189	2,134,050

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	—	—	—	25,479	1,431,379
当期変動額					
新株の発行	—	—	—	—	614,153
株式交換による増加	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	114,126
自己株式の取得	—	—	—	—	△131
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	—	—	—	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	△465	△465	4,101	3,636
当期変動額合計	—	△465	△465	4,101	731,785
当期末残高	—	△465	△465	29,580	2,163,165

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,001,772	2,865,919	△1,733,452	△189	2,134,050
当期変動額					
新株の発行	20,007	20,007	—	—	40,015
株式交換による増加	—	1,919,206	—	—	1,919,206
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	74,149	—	74,149
自己株式の取得	—	—	—	△13,005	△13,005
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	20,007	1,939,213	74,149	△13,005	2,020,365
当期末残高	1,021,779	4,805,133	△1,659,302	△13,195	4,154,415

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	—	△465	△465	29,580	2,163,165
当期変動額					
新株の発行	—	—	—	—	40,015
株式交換による増加	—	—	—	—	1,919,206
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	74,149
自己株式の取得	—	—	—	—	△13,005
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,212	△2,742	△5,954	37,884	31,929
当期変動額合計	△3,212	△2,742	△5,954	37,884	2,052,295
当期末残高	△3,212	△3,207	△6,419	67,464	4,215,460

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	135,734	322,315
減価償却費	196,065	169,907
のれん償却額	137,965	188,411
為替差損益(△は益)	△6,636	△1,661
株式報酬費用	3,914	25,128
株式交付費	3,972	—
支払手数料	15,677	1,032
持分法による投資損益(△は益)	△5,328	—
新株予約権戻入益	△228	△384
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△885	△557
受取利息及び受取配当金	△965	△2,790
支払利息	23,617	22,978
短期売買利益受贈益(△は益)	△14,155	—
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩損益(△は益)	3,249	—
関係会社株式売却損益(△は益)	7,674	—
売上債権の増減額(△は増加)	△255,926	185,999
棚卸資産の増減額(△は増加)	61,597	3,449
仕入債務の増減額(△は減少)	212,650	△384,174
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△2,505
投資有価証券評価損益(△は益)	—	660
未払金の増減額(△は減少)	△34,520	105,707
未払費用の増減額(△は減少)	55,598	△22,835
未払消費税等の増減額(△は減少)	52,254	2,733
前受金の増減額(△は減少)	36,447	69,781
預り金の増減額(△は減少)	△5,289	628,671
その他	251	913
小計	622,733	1,312,780
利息及び配当金の受取額	965	2,790
利息の支払額	△24,002	△22,779
短期売買利益の受取額	14,155	—
法人税等の支払額	△51,989	△128,783
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>561,862</b>	<b>1,164,007</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△19,857	△7,836
投資有価証券の売却による収入	—	158,012
無形固定資産の取得による支出	△111,068	△166,239
敷金及び保証金の差入による支出	△11,144	△670
敷金及び保証金の回収による収入	47,650	—
関係会社株式の売却による収入	4,900	—
その他	1,883	△3,032
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△87,636</b>	<b>△19,766</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000	316,640
長期借入れによる収入	984,322	100,000
長期借入金の返済による支出	△1,593,338	△280,004
社債の償還による支出	△32,000	△45,000
リース債務の返済による支出	△4,150	△7,168
株式の発行による収入	299,993	—
新株予約権の発行による収入	1,237	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	313,338	36,833
自己株式の取得による支出	△131	△230
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△80,727</b>	<b>121,069</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,114	△1,493
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>396,613</b>	<b>1,263,817</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,094,332	1,490,946
<b>株式交換による現金及び現金同等物の増加額</b>	<b>—</b>	<b>473,505</b>
現金及び現金同等物の期末残高	1,490,946	3,228,269

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表関係)

当連結会計年度より、連結子会社である株式会社バリューデザインにおいて、独自Payの付加サービスとしてクレジットカードや銀行口座からオンラインチャージが実施可能な新たなサービスを顧客企業へ提供しております。それに伴い、このオンラインチャージによるプリペイドカードへの入金額の一部を株式会社バリューデザインにおいて預かっております。

これにより、連結貸借対照表の流動負債の「その他」に含めておりました「預り金」について、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より「預り金」として独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表の流動負債の「その他」に表示していた130,480千円は、「預り金」12,159千円、「その他」118,320千円として組替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当連結会計年度において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めておりました「預り金の増減額」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より営業活動によるキャッシュ・フローの「預り金の増減額(△は減少)」として独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に表示していた△5,037千円は、「預り金の増減額(△は減少)」△5,289千円、「その他」251千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象になっております。

当社グループは「キャッシュレスサービス事業」、「デジタルサイネージ関連事業」、「ソリューション事業」及び「その他の事業」を展開しており、それぞれの事業において、顧客へ包括的な戦略を立案し、サービス提供活動を行っております。従って、当社グループは「キャッシュレスサービス事業」、「デジタルサイネージ関連事業」、「ソリューション事業」及び「その他の事業」の4つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「キャッシュレスサービス事業」は、スーパーマーケット、飲食店等の店舗を展開する顧客向けに、エンドユーザーが利用するハウス電子マネーやポイント、デジタルギフトカードなどのサービスを提供しております。

「デジタルサイネージ関連事業」では、ショッピングセンター、飲食チェーン店、コンビニエンスストア、オフィスや駅・空港など、多種多様な業種の顧客に対してデジタルサイネージの販売及び設置、メンテナンスサービスなど、デジタルサイネージに関するトータルソリューションを提供しております。

「ソリューション事業」のメッセージングサービスは、自社サービス等で一時に大量にメール配信を行う顧客を対象に、メッセージ伝達に欠かせない機能を備えたサービスを提供しており、同じくデータセキュリティサービスは、主に個人情報を大量に取り扱う顧客向けに個人情報管理ソリューション「P-Pointer File Security」を提供しております。また、その他のサービス(ARサービス)では、主にエンドユーザー向けプロモーションを実施したい顧客向けサービスとして、ARアプリケーション「ARAPPLI」の提供やARコンテンツ制作を行っております。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

第3四半期連結会計期間より、2024年3月1日の株式会社クラウドポイントとの経営統合に伴い、新たに「デジタルサイネージ関連事業」を展開しております。また、同日付で持株会社体制へ移行しており、当社グループの業績管理区分の見直しを行っております。これにより、当社グループの業容拡大に併せて新規事業等を「その他の事業」として識別しており、より適正な業績評価が行えるようになると判断しております。

この結果、従来、全社費用として「調整額」に含めて表示しておりました新規事業等に関する「外部顧客への売上高」、「セグメント間の内部売上高又は振替高」及び「セグメント利益又は損失(△)」、「減価償却費」の数値については、「その他の事業」として組み替えて記載しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。



3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	キャッシュレスサービス事業	デジタルサイネージ関連事業	ソリューション事業	その他の事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,792,315	—	683,991	—	4,476,307	—	4,476,307
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	5,585	—	5,585	△5,585	—
計	3,792,315	—	689,576	—	4,481,892	△5,585	4,476,307
セグメント利益又は損失(△)	620,852	—	226,606	△36,749	810,709	△647,105	163,604
その他の項目							
減価償却費	141,103	—	31,866	56	173,027	23,038	196,065

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△647,105千円は、各報告セグメントに含まれない全社費用が含まれております。また、減価償却費の調整額23,038千円は、全社費用であります。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産及びセグメント負債の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象になっていないため、記載しておりません。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	キャッシュレスサービス事業	デジタルサイネージ関連事業	ソリューション事業	その他の事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,376,041	2,748,296	728,054	1,020	6,853,412	—	6,853,412
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	8,360	—	8,360	△8,360	—
計	3,376,041	2,748,296	736,414	1,020	6,861,772	△8,360	6,853,412
セグメント利益又は損失(△)	616,881	392,512	225,423	△72,174	1,162,642	△824,697	337,945
その他の項目							
減価償却費	124,641	7,650	25,316	329	157,937	11,969	169,907

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△824,697千円は、各報告セグメントに含まれない全社費用が含まれております。また、減価償却費の調整額11,969千円は、全社費用であります。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産及びセグメント負債の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象になっていないため、記載しておりません。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	日本を除くアジア地域	合計
4,371,402	104,905	4,476,307

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表 計上額
	キャッシュレスサービス事業	デジタルサイネージ関連事業	ソリューション事業	その他の事業	計		
当期償却額	137,965	—	—	—	137,965	—	137,965
未償却残高	1,044,594	—	—	—	1,044,594	—	1,044,594

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表 計上額
	キャッシュレスサービス事業	デジタルサイネージ関連事業	ソリューション事業	その他の事業	計		
当期償却額	118,255	70,155	—	—	188,411	—	188,411
未償却残高	926,338	1,332,956	—	—	2,259,295	—	2,259,295

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(収益認識関係)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	キャッシュレスサービス事業	デジタルサイネージ関連事業	ソリューション事業	その他の事業	
スポット売上	1,015,387	—	48,742	—	1,064,129
リカーリング売上	2,320,669	—	635,249	—	2,955,918
その他の売上	456,259	—	—	—	456,259
顧客との契約から生じる収益	3,792,315	—	683,991	—	4,476,307
外部顧客への売上高	3,792,315	—	683,991	—	4,476,307

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	キャッシュレスサービス事業	デジタルサイネージ関連事業	ソリューション事業	その他の事業	
スポット売上	893,279	2,505,073	55,594	1,000	3,454,947
リカーリング売上	2,374,454	193,891	672,459	20	3,240,825
その他の売上	108,308	49,331	—	—	157,640
顧客との契約から生じる収益	3,376,041	2,748,296	728,054	1,020	6,853,412
外部顧客への売上高	3,376,041	2,748,296	728,054	1,020	6,853,412

2. 当連結会計年度及び翌連結会計年度以降の収益の金額を理解するための情報

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位:千円)

	当連結会計年度
顧客との契約から生じた債権(期首残高)	439,382
顧客との契約から生じた債権(期末残高)	698,683
契約資産(期首残高)	1,947
契約資産(期末残高)	—
契約負債(期首残高)	2,463
契約負債(期末残高)	3,719

(注) 顧客との契約から生じた債権は、「受取手形、売掛金及び契約資産」として表示しております。また、契約負債は、流動負債の「前受金」に含まれております。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	当連結会計年度
顧客との契約から生じた債権(期首残高)	698,683
顧客との契約から生じた債権(期末残高)	1,090,445
契約負債(期首残高)	3,719
契約負債(期末残高)	13,857

(注) 顧客との契約から生じた債権は、「受取手形、売掛金及び契約資産」として表示しております。また、契約負債は、流動負債の「前受金」に含まれております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり純資産額	180.07円	264.33円
1株当たり当期純利益又は	10.65円	5.37円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	10.48円	5.27円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり当期純利益又は		
親会社株主に帰属する当期純利益又は (千円)	114,126	74,149
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	114,126	74,149
普通株式の期中平均株式数(株)	10,710,640	13,807,054
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	173,770	241,628
(うち新株予約権(株))	(173,770)	(241,628)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第15回新株予約権 新株予約権の数 520個 (普通株式 52,000株) 第18回新株予約権 新株予約権の数 200個 (普通株式 64,000株) 第19回新株予約権 新株予約権の数 198個 (普通株式 63,360株) 第20回新株予約権 新株予約権の数 46個 (普通株式 14,720株) 第23回新株予約権 新株予約権の数 4,160個 (普通株式 416,000株)	第15回新株予約権 新株予約権の数 495個 (普通株式 49,500株) 第24回新株予約権 新株予約権の数 112個 (普通株式 77,728株) 第25回新株予約権 新株予約権の数 200個 (普通株式 20,000株) 第26回新株予約権 新株予約権の数 1,825個 (普通株式 182,500株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。